

令和3年度地域活性化プログラム【石垣市】の実績【別紙1】

2022.5.25
中小機構

■国内販路開拓支援スキームの構築支援

Makuake「オンライン催事・石垣島フェア」令和3年11月26日(金曜)～令和4年1月28日(金曜)



参加プロジェクト数

23件 (複数連携体含む 31社参加)

全プロジェクトの応援購入総額

14,129,498円 (目標額合計: 7,412,500円) 達成率: 190.6%

サポーター総数(延べ数)

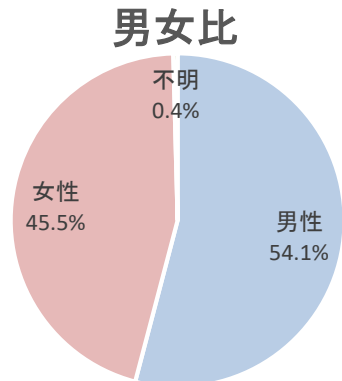
1,930名

※23プロジェクト中18プロジェクトが目標達成

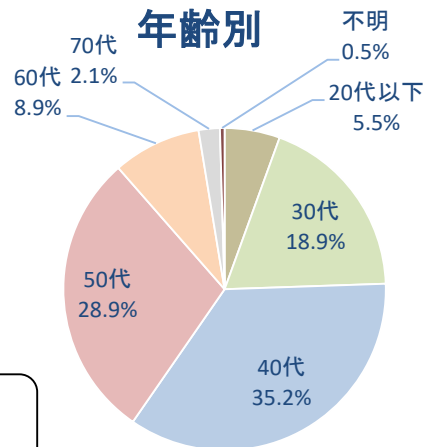
※全47都道府県より応援購入者あり

【応援購入者データ】

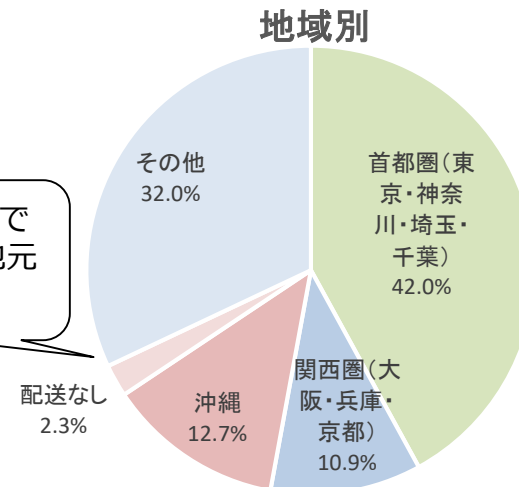
N=1,930



Makuake全体では男性が64%程度であり女性比率が高い



他県での事例では30%超が地元購入者



他県の企画と比べ、県外応援購入者の比率が高く、国内販路(県外)開拓という所期の目的を達したといえる。

フェア参加事業者の声

◎よかった点

- ・ 石垣島フェア内で横のつながりを感じることができ、実行者同士で交流ができた。
相互紹介を活動レポート内で行えたことがよかった。
- ・ これを小ネタに小売販路にもっていくとスムーズに商談が進む実感あり（目標達成により）
- ・ 初めてのEC販売だったので、ノウハウが溜まった。
- ・ Makuakeへの出展を機に、他の商談会や、フェア（地域活性化パートナーであるカタログハウス）
からも声がかかり、具体的な商談に広がった。

△課題点

- ・ 中だるみ期間の情報拡散施策を事前に検討、担当キュレーターへ相談すればよかった。
- ・ 社内現場スタッフをもっと巻き込めばよかった。
- ・ 個別でやってた感覚が強く、もっと横のつながりを感じられる取組が事前にもっとあればよかった。

マクアケ社としての振り返り

- ・ 地域行政主導のオンライン催事として過去最大規模の結果。
- ・ コロナ禍でマスメディアや地元メディアの取材活動が難しい状況下で、実行者同士が活動レポートで相互紹介をする等、1つ1つの丁寧な発信がサポーターにも伝わり、実行者を応援するコメントが、マクアケ内やSNSで多く見受けられた。